

郵政民営化委員会（第139回）議事要旨

日 時：平成27年10月5日（月）9：30～10：10

場 所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

出席者：増田委員長、米澤委員長代理、老川委員、三村委員

日本郵政株式会社 谷垣専務執行役、平野上場準備室担当部長

日本郵便株式会社 佐々木専務執行役員

1. 概要

- (1) 日本郵政株式会社から、「日本郵政グループ3社の株式売出し」について説明があり、質疑応答が行われた。
- (2) 日本郵便株式会社から、「郵便局のみまもりサービス等」について説明があり、質疑応答が行われた。

2. 委員会での説明・意見等

- (1) 「日本郵政グループ3社の株式売出し」について【資料139-1】

① 説明の概要

- ・ 11月4日に東京証券取引所市場第一部に上場する予定であり、ブックビルディングの期間は、日本郵政の株式については10月8日から23日まで、金融二社の株式については10月8日から16日までを予定している。

② 委員からの意見等

- ・ ロードショーにおける海外投資家の反応はどうであったか。
(⇒非常に微妙な時期であり、売出価格に影響を与えないので、回答は控えた
い。)
- ・ 明後日の仮条件価格の決定から、具体的な上場スケジュールがスタートするが、進み具合は順調か。
(⇒順調である。)

- (2) 「郵便局のみまもりサービス等」について【資料139-2】

① 説明の概要

- ・ 「みまもりサービス」について、実施エリアの拡大やオプションサービスの追加等のサービスの拡充を行った。
- ・ 平成27年10月中に、IBM及びAppleと共同でICTを活用した高齢者向け生活支援サービスについての実証実験を開始する。

② 委員からの意見等

- ・ これまでの利用者からの反応はどうか。
(⇒周知活動が不足していると認識しており、今後はもっと周知していきたい。とりあ
えずは、実証実験のモニター募集に注力している。)

- ・ みまもりサービスの範囲を13支社83市町村に拡げたということだが、どのように選定したのか。
(⇒地域の局長から、自治体の状況等の話を聞いた上で選定している。)
- ・ 今後のサービス拡充に向けて、どのような態勢でやっていくのか。
(⇒自治体等の連携が不可欠であると考えているが、具体的には、今後の実証実験の結果を見ながら検討していく。また、ICTの更なる活用、アクティブ・シニアとの連携等についても検討していきたい。)
- ・ 最終的にはビジネスとしてやっていくのか、それとも社会的責任として赤字覚悟でやっていくのか。
(⇒大きく利益を上げるつもりはないが、赤字を出すこともできないと考えている。提携会社から手数料を頂くなど様々な方法で収益を得ながら、採算が取れるところでサービスを提供していきたい。)

以上

(注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。